

平成29年度 神奈川県立生田東高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

神奈川県立生田東高等学校

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	○公務員・社会人としてあってはならない非違行為の防止 ○教員経験の浅い職員による不祥事の防止	○6月の事故防止会議において、公務員としての自覚とコンプライアンスについて、12月には交通法規遵守（特に飲酒運転防止）や事故発生時の初動についてそれぞれ点検表を基に確認することで認識を深めた。 ○6月に教員経験5年未満の職員対象に研修を実施し、管理職から生徒対応や服務、ベテラン職員との接し方等について話をした。2月の事故防止会議では点検表を基に、職員間での情報共有や声かけ、コミュニケーションの大切さを確認した。
②わいせつ・セクハラ行為の防止	○コミュニケーション手段の適正な利用 ○教科準備室等の適切な利用 ○生徒のセクハラに対する意識の啓発、相談体制の周知	○9月に「インターネットを悪用した人権侵害」というテーマで、SNSの使い方によるトラブル等について職員研修を実施した。10月には生徒の携帯電話番号等の管理徹底を呼びかけ、1月には緊急職員会議を開き、校長より注意喚起を行った後、実態把握調査の回答を踏まえ、全職員と面接を実施した。生徒に対しても適切な職員との連絡方法について全校集会で校長より確認した。 ○管理職で巡視をした後、1月の事故防止会議において教科準備室の整備について周知した。 ○生徒に対し、異性に対する人権尊重や相談体制の案内を教室や廊下等に掲示し周知した。
③体罰、不適切な指導の防止	○体罰の防止	○4月と11月の事故防止会議で、体罰が決して許されないこと、アンガーマネジメントで自分をコントロールしながら生徒に接することの重要性を確認することで認識を深めた。
④成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	○定期試験、成績処理、進路関係書類に係る不適切な事務処理の防止	○7月と9月の事故防止会議で複数による確実な点検体制を確認した。定期テストについては点検者が手書きで解答用紙に解答することで、正答確認と解答欄の大きさが適切であるか等の確認をするように指導した。
⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	○生徒に係る個人情報情報を扱う際の意識の再徹底	○6月より教務手帳のキャビネット一元管理を開始し、原則個人で保管しないようにした。休日前等、その都度キャビネットに収納するように呼びかけて徹底を図った。答案返却については欠席者分を指定のクリアファイルで保管し、確実に本人の手に渡るようにするなどして誤廃棄防止の対策を取った。
⑥会計事務等の適正執行	○財務規則等を遵守した適切な事務手続の徹底	○4月の事故防止会議で私費会計の迅速で正確な処理について点検表を用いながら確認した。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

平成29年度は概ね計画通りにプログラムを執行し、大きな事故・不祥事もなく終えることができた。平成30年度も引き続き気を引き締めて不祥事ゼロを目指し取り組む所存である。細かい事務処理や会計処理等に細心の注意を払うように改めて指導すると共に、常に職員間で情報を共有し、コミュニケーションを図ることで意思の疎通と相互チェック体制の強化を図る。また、グループごとに項目を分担し、目標に沿ったより実効的な研修を企画する。